

様式第2号（第5条関係）

平成27年 3 月 20 日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 大西勝博



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成26年 7月 28日 ~ 平成26年 7月 27日まで
- 2 旅 行 先 東京都 市ヶ谷 法政大学
- 3 目 的 市民と議員の条例づくり交流会議
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成 26 年 7 月 25 日 15:00 ~ 17:30
視 察 先	東京都 衆議院会館
調査事項	農業施策等の方向性について
対 応 者	渡辺 孝一代議員
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	政府の北海道に対する(特に農業関連に係る)動向 を聴取する 1. TPPに関すること 2. 地方創成に関すること 3. 北海道農業の方向性、政府与党の基本的考え 等を渡辺代議員と懇談した。 考察として、TPPについては情報の開示が不十分で、 方向が不透明ではあるが、地域の継続的運動の 展開が必要と認識した。 地方創成性に関しては、地方自治体において自らが発想 展開する事業等に力を注ぐとのこと。新たに、地方発 信の必要性を感じた。 北海道農業の方向性で、特に空知地区の特に水稲を 中心に農業展開している中で、生産性の向上のため、基盤整備 等、大規模農業への期待を感じた。

日 時	平成 26 年 7 月 26 日 14:00 ~ 17:00
視 察 先	東京都市庁舎 法政大学校舎
調査事項	行財政縮小時代に地域の枠をどうつくる
対 応 者	中尾氏、廣瀬教授、長野基氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	市民と議会の条例づくり交流会議の日程に従い参加 議会報告会の各議会の取組の現状と総合計画 公共施設等総合管理計画について 廣瀬克哉教授の基調提起「財政縮小時代に地域の枠をどうつくる? 議会はこの課題を担えるか」について 講演の後、パネルディスカッションで、神原勝巳 海学園大学教授より「自律自治体の構築と自治基本条例・ 議会基本条例・総合計画条例」の関わりと総括機能する ことにより、自律した自治体の構築されると提起されると共に 神吉信之氏より「選挙による選択とマニフェスト型自治体運営 との提起がなされた、 考察として、衆心町においては、議会基本条例、自治基本条例 総合計画条例の3つが決定され、今後検証する段階に入 ると共に、身の丈にあった展開が必要と考へる。

日 時	平成 27 年 7 月 27 日 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 15:00
視 察 先	市民と議員の条例づくり交際会議 - 出席
調査事項	公共施設総合管理計画について
対 応 者	廣瀬克成氏 菅原敏夫氏 本川祐治郎氏 藤縄善明氏 郷庭伸氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	縮小時代の未来を市民、議会、行政でどうつくる? と題し、パネルディスカッションが行われた。各氏の事例報告と共に、合意形成の難しさも提起された。 その後、グループセッションに参加し、テーマである「やってよかった議会報告会×いいよかった議会報告会」のグループに参加し、市民、議員それぞれの立場で意見交換をする。 考察としては、議会報告会の特色、特性を市民、議員相互が理解するには、積みかさねが必要であると実感する。